

循環型社会のミクロ経済学（第7回）

本日の授業『静脈経済での価格決定原則③』の目標

- ①代表的な廃品市場での売り手と買い手の反応が分かること
- ②代表的な廃品市場での価格の決まり方が分かること

本日の構成

- 7-1. 代表的な廃品市場の特徴
- 7-2. 代表的な廃品市場での価格の決定
- 7-3. まとめ

7-1. 代表的な廃品市場の特徴

- ①廃品市場を観察する方法
- ②代表的な廃品市場の特徴

(1)廃品需要曲線：廃品価格に対する処理者の反応

<a>廃品価格が上昇した場合の処理者の反応
 → 廃品価格の上昇 → 限界処理収入の上昇
 → 限界処理収入 > 限界処理費用 → 廃品処理量の増加

廃品価格が下落した場合の処理者の反応
 → 廃品価格の下落 → 限界処理収入の下落
 → 限界処理収入 < 限界処理費用 → 廃品処理量の減少

(2)廃品供給曲線：廃品価格に対する排出者の反応

<a>廃品価格が上昇した場合の排出者の反応
 → 廃品価格の上昇 → 限界排出支出の上昇
 → 限界排出効用 < 限界排出支出 → 廃品排出量の減少

廃品価格が下落した場合の排出者の反応
 → 廃品価格の下落 → 限界排出支出の下落
 → 限界排出効用 > 限界排出支出 → 廃品排出量の増加

7-2. 代表的な廃品市場での価格の決定

①廃品価格に対する買い手と売り手の利益の決定

- (1)廃品価格に対する買い手の利益「処理余剰」の決定
- (2)廃品価格に対する売り手の利益「排出余剰」の決定

②代表的な廃品市場での廃品価格の決定

- (1) 廃品需要量 > 廃品供給量 → 廃品価格は下落
 → 排出者は排出便益の最大化を達成 but 処理者は処理利益の最大化を未達成
 → 処理者は処理利益を増やすために、廃品価格の下落を提案
 → 排出者は排出便益が増やせるため、廃品価格の下落を受入

- (2) 廃品需要量 < 廃品供給量 → 廃品価格は上昇
 → 排出者は排出便益の最大化を未達成 but 処理者は処理利益の最大化を達成
 → 排出者は排出便益を増やすために、廃品価格の上昇を提案
 → 処理者は排出利益が増やせるため、廃品価格の上昇を受入

(3) 廃品需要量 = 廃品供給量 → 廃品製品の価格は変化なし

→ 排出者は排出便益の最大化を達成 and 処理者は処理利益の最大化を達成

→ 排出者も処理者も、廃品価格の変更なしを提案

7-3. まとめ

① 代表的な廃品市場は、排出便益の最大化を目的として行動する排出者の廃品供給曲線と、処理利益の最大化を目的として行動する処理者の廃品需要曲線によって表される。

② 代表的な廃品市場では、廃品需要量と廃品供給量が同じ大きさとなる状態の時に廃品価格が決定する。

Memo